

一月十二日 陸軍中尉加藤卓男以下二十五名船舶固
定通信聯隊へ又陸軍曹長松原登以下二名ハ船舶
通信聯隊補充隊要員トシテ夫々轉屬ヲ命ゼラ
レ出發ス (轉屬月日 一月二十日)

一月十五日 昭和十八年度青八隊補充兵ノ中間檢閲
(銃教練)ヲ實施ス、其ノ成績概シテ良好ナリ

一月十九日 師團ハ舊正月ヲ期シ管内ノ敵ニ對ス
ル討伐ヲ企圖シ步兵第六十三、同六十四旅團ハ一
月二十五日ヨリ夫々擔任地域ノ敵ニ對シ一齊ニ討
伐ヲ實施ス

通信隊長ハ師團命令ニ基キ一月二十三日三號無
線一ヶ分隊ヲ步兵第六十三旅團長ニ又無線三ヶ
分隊ヲ步兵第六十四旅團長ニ夫々配屬シ、旅團長
各討伐隊長間ノ無線連絡ニ任ゼシム、通信

ノ實施圓滑ナリ

一月二十二日 昭和十八年度九月入隊補充兵ノ檢閲ヲ實施ス

其ノ成績概シテ良好ナリ

一月二十四日 陸軍中尉坂井俊男工場監督官要員トシテ陸軍兵器行政本部ニ轉屬ヲ命ゼラレ出發ス

(轉屬月日 一月二十日)

二月三日 獨立歩兵第二〇二大隊通信隊要員久米軍曹以下二七名出發ス

師團ノ舊正月(二月三日)肅正討伐ハ相當ノ成果ヲ收メタリ

師團ハ將來ノ情勢ニ備ヘ交通、通信及資源確保ニ重點ヲ置キ更ニ討伐肅正ノ續行ヲ企圖シ歩兵第六十三同六十四旅團ヲシテ交通

通信並ニ陽泉北方及高平澤州附近ノ資源確保ヲ目途トシ各部隊毎ニ討伐肅正ヲ續行セシム

通信隊長ハ舊正月肅正討伐ニ引續キ無線分隊ヲ歩兵第六十三同六十四旅團長ノ指揮ニ入ラシメ本

肅正討伐ニ參加無線連絡ニ任セシム
二月九日 昭和十八年度徵集現役兵服部秀夫以下九四名到着ス

二月十日

(1) 支那派遣軍總參謀長松井中將來榆管内ノ狀況ヲ視察セラル

(2) 陸軍少尉板垣敬作以下六十三名ハ臨時召集ニ依リ師團通信隊ニ入隊ス

二月十一日 陸軍中尉藤川昇臨時召集ニ依リ師團通信隊ニ入隊ス

二月十二日 師團ハ現ニ舊正月ヨリ續行中ノ肅正討伐
ヲ中止シ原態勢ニ復歸ス

兩旅團ニ配屬中ノ三號無線四ヶ分隊ハ十三日十七
日二十日夫々通信隊ニ復歸セリ

二月二十日 陸軍二等兵松本常治以下二十九名櫻部隊
要員トシテ獨立歩兵第十四大隊ニ轉屬ノタメ出發
ス

二月二十四日 陸軍少尉板垣敬作獨立歩兵第十四旅
團通信隊要員トシテ出發ス

陸軍上等兵石田武雄以下四名第十五航空通
信聯隊要員トシテ轉屬ノタメ出發ス

二月二十五日 陸軍曹長松井憲一以下四九名獨立歩
兵第二四四大隊通信隊要員トシテ轉屬ノタメ
出發ス

三月十日 榆次附近ニ於ケル警備勤務ヲ獨立歩兵
第十旅團ニ移讓シ新任務ノ準備並ニ教育訓練ニ
着手ス

三月十一日 通信隊將兵一同ヨリ飛行機建造ノタメ献
金シタルトコロ陸軍大臣ヨリ感謝狀ヲ交付セラレ通
信隊長ハ將校一同ヲ營庭ニ集メ感謝狀ヲ朗讀ス

四月三日

陸軍少尉 水野昇

四月一日附ヲ以テ東京陸軍少年通信兵學校生徒隊
附ニ補セラレ榆次出發ス

四月五日 師團ハ五日第一軍ノ隷下ヲ脱シ十二軍
ノ隷下ニ入ル通信隊ハ京漢作戰參加ノタメ駐屯地
榆次ヲ出發ス 四月十八日迄師團ノ集結地馬營霸
王城附近ニ在リテ作戰準備ヲナス

四月十九日 京漢作戰開始セララルヤ通信隊ハ師

團司令部一隸下各部隊或他兵團間ノ通信連絡
ニ任ズ

本作戦間参加シタル主要戦闘左ノ如シ

1. 霸王城附近ノ戦闘 (四月十九日—二十日)

鄭州附近ノ戦闘 (四月二十日)

新鄭附近ノ戦闘 (四月二十日—二十二日)

崔廟及密縣附近ノ戦闘 (四月二十二日—五月一日)

2. 許昌附近ノ會戰 (四月二十六日—五月二日)

穎橋鎮附近ノ戦闘 (四月三十日—五月二日)

3. 湯恩伯軍主力撃滅戰 (五月二日—五月十一日)

禹縣附近ノ戦闘 (五月二日—五月四日)

杏山周邊戦闘 (五月五日—五月六日)

登封大金店附近ノ戦闘 (五月二日—五月七日)

大雄山周邊掃蕩戰 (五月九日—五月十日)

4. 洛河畔撃滅戰

宜陽及殷村附近ノ戦闘

(五月十一日—五月二十七日)
(五月十一日—五月十五日)

5. 洛陽城攻略戰

五月二十八日 師團長ヨリ通信隊ノ京漢作戦間ノ功績ヲ
認メラレ別紙寫ノ通り賞詞ヲ受ク

六月七日 師團戦闘司令所ハ同感寨ヲ出發シ裏城

ニ向フ、通信隊主力ハ戦闘司令所ト行動ヲ共ニシ其

ノ他ハ行軍ニ依リ六月七日同感寨出發ス主力ハ六

月十二日夫ニ裏城ニ到着シ爾後裏城附近ノ警備ニ

任ズ

七月七日 師團ハ第十二軍ノ戦闘序列ヨリ除キ大

本營直屬トセシメラレ(隸屬轉移ノ時機ハ七月二十

五日零時)轉進ノ準備ヲナス

通信隊ハ現任務ヲ戰車第三師團通信隊ニ移讓シ

七月八日襄城出發、許昌、和尚橋、新鄭、鄭州、忠義ヲ經テ七月二十日開封ニ到着シ爾後ノ轉進ノ準備ヲナス

七月二十四日 陸軍曹長川津羊ニ以下四名八月一日附ヲ以テ第一航空情報聯隊ニ轉屬ス

八月一日 通信隊ハ轉進ニ伴ヒ左記ノ如ク編成ヲ整理ス

左記

陸軍兵科幹部候補生木原茂以下十一名入院患者
陸軍上等兵和田甚一郎以下五〇名獨立混成第七旅
團司令部ニ衛生部下士官候補者田中良助、獸
醫部下士官候補者宇鐵善作ハ第百十師團司
令部ニ各々七月十五日附ヲ以テ轉屬セシム
第六十二師團輜重隊ヨリ陸軍兵長花房多久次以下

四〇名八月一日附ヲ以テ通信隊ニ轉屬八月三日到着ス

八月五日 陸軍衛生曹長岡下正教以下五八名轉屬ノタメ開封ニ殘置開封警備隊長ノ指揮ニ入ラシム

八月六日 通信隊ハ轉進ノタメ四三〇開封出發シ輸送ニ依リ八月八日上海江灣駅ニ下車江灣西兵舎ニ宿營八月十六日吳淞港出發、八月十九日沖繩縣那霸港ニ到着ス

八月二十日 沖繩縣那霸港ニ上陸シ沖繩本島ノ防衛ニ移行ス

八月二十三日 師團司令部ハ中頭郡浦添村仲間國民學校ニ位置ス通信隊ハ中頭郡浦添村字前田ニ集結ヲ完了シ師團司令部、各部隊間ノ通信連